

# 選挙公報

誰もが輝く希望溢れる真鶴町を目指し、海野弘幸は、町議会議員活動に尽力します。



## 海野弘幸

- 町民の皆様の生活負担増にならないよう、湯河原町との広域行政推進協議会において、水道料金の値上げ抑制に努めます。
- 活力ある産業の振興と人々の交流の活性化を支援します。
- 魅力ある地場産業振興(地場産品販売体制)を推進します。
- バランスのとれた石材・漁業・農業・商業・観光の循環づくりに努めます。
- 持続性を見据えた産業の振興と発展に努めます。
- 子どもから高齢者まで地域で共に支えられる環境づくりに努めます。

## 素敵が未来をつくる！



## 村田 ともあき 知章

まちを元気にするパワーは「素敵」です！  
魅力あふれるまちには、素敵があふれています。真鶴を元気にするのは、素敵を増やすこと。路地裏に咲く花、沖行く船、小鳥のさえずり、緑あふれる自然、アートな街角、国際色豊かなコミュニティ、そして皆様の笑顔。素敵が人を呼び、まちの活力となります。そのため実践を通して、政策提言を行います。

**公約**  
一般質問で皆様の声を町政に届けます。  
みんなと一緒につくる議会。年4回ある本会議では、各議員に一般質問をする権利を与えています。元職8年間、一度も欠かさず質問し続けてきた実績があります。

**目標**  
環境美化。  
まちの美化活動、アートの普及。  
障がい者、高齢者、移住者にやさしい町は、だれにとっても住みやすい町。  
若者の働く場所づくり  
都市から地方へ、在宅ワークが進められているのがチャンス。

昭和49年生 五川大学農学部卒業  
著書「自然農法を始めました」(東京書籍)  
「化学物質過敏症お悩み事情」(本の泉社)  
<https://www.facebook.com/tomoaki.murata>

Go Go

## 地域を駆け巡り、皆さんの声を届けます！



## 木村いさむ

素朴で豪快で温かい。人と人との近い距離感と濃厚さ。  
そんな土くさい町の魅力に惹かれ、明るい町を切り開いてきた。第2の青春の疾走へと舵を切りました。  
移り住んで来た人も元々住んでいた人も夢をもってチャレンジできる町。老いも若きも男女も胸を開いて意見があふつかり合える真つ当さ。  
昔ながらの伝統を意地と誇りをもって大切に、起業や文化の新しいイノベーションが湧き出る可能性に満ちた真鶴町の伸びしろは夢幻大。クリーン美しいうてクリア(透明性)でクリエイティブ(創造的)。小さな町でもダイヤモンドのように硬く強く光っています。  
シガラミにとられない「移住者の目線」で、記者魂にすぐる公正公平な姿勢で中道を歩み、是非多々な議事を苦い力でけん引し、期待と信頼を寄せられる議会を目指します。  
「町の心を一つに」一人一人の声が尊重される「オール真鶴」のまちづくりで県内唯一の過疎地・真鶴町の変革劇をもたらします。

**元記者**

【木村いさむプロフィール】 昭和58年7月26日 静岡県熱海市出身  
静岡県立熱海高等学校 卒業 / 大東文化大学法学部法律学科 卒業  
株式会社伊豆新聞本社編集局取材部 / 西湘タイムス(小田原) 記者  
日刊湯河原新聞(真鶴担当)編集長 / NPO法人湯河原町地域作業所たんぼほ職員

きむら 無所属 新人 38才

## 寄り添い、共に育む！



## 高橋あつし

- 新たな産業と雇用の創出**
- 岩牡蠣養殖に次ぐ新たな産業づくりを推進します。
  - 子育てをしながら働くことの出来る職場づくりを推進します。
- 移住・定住の促進**
- コロナ禍に求められるリモートワークに適した通信環境を整備し、自然環境豊かな真鶴に暮らし、真鶴で仕事ができる環境づくりを推進します。
  - 真鶴の魅力をより拡げるため、効果的な情報発信を推進します。
- 教育の魅力化**
- ICTを活用した他の地域の子どものためのリモート交流授業、発表会などを行うことで、様々な体験の場づくりを推進します。
  - 小規模校だからこそできる一貫教育体制を研究し、きめ細やかで魅力的な教育環境づくりを推進します。
- 安全安心に住みまわす**
- 自然災害から町民を守る安全・安心なまちづくり、高齢者や小さな子どもにも優しい住み良いまちづくりを推進します。
- これまでの実績を明日の真鶴へ！高橋あつしは取り組みます!!

## 光輝き求めて MANAZURU



## 岩本かつみ

私は、自治会活動を通じて、地域の防災・防犯活動をしてきました。子供たちが安心して通学できるよう、見守り活動は既に15年になりました。高齢化が進む真鶴町では、日常生活の安定に欠かせない移動手段の確保と福祉の充実が一層強く求められます。通勤通学や通院、買い物といった移動手段の確保のため、地域公共交通の充実を訴えて参ります。子どもさんからお年寄りまで、安心して暮らせる、そんな真鶴町を作りたい。今までも、そしてこれからも精一杯頑張ります。

**■チャレンジします■**

<b>重点課題</b> 水道事業の一体化、湯河原町と進めている広域化実現に向けた準備を促進させます。それには、いくつもの基準をクリアすることが求められます。	<b>議員活動の開示</b> 活動実態を積極的にお知らせします。広報誌「ビジョン」を通じて行政・財政の情報をお知らせします。
<b>充実した医療体制の確保と防災対策</b> 地震や風水害という自然災害だけではなく、コロナウイルスといった目に見えぬ脅威との闘い、医療体制の充実と、避難所運営体制の確立に努めます。	<b>防犯対策</b> 見えない相手に見える防犯活動は、犯罪抑止に繋がります。町内防犯パトロールに積極的に参加します。青色防犯パトロール隊の警ら巡回活動継続

## 真鶴町は人口が減り続け、神奈川県で唯一の過疎地域に指定されています。現職議員に任せていいのですか？



## 島内かずき

- ### 真鶴町を守る取り組み
- 商業施設の建設
  - 集合住宅の建設
  - 認可保育園の建設
  - 企業誘致への補助金制度
  - コミュニティバスの増便
  - 真鶴ブランド化
  - 医療施設の充実
  - 土砂崩れ対策の強化
  - インターネット・SNSを活用した観光客の誘致
  - 移住者への地域振興券配布や居住用新築補助金制度
  - コロナ感染の緊急事態宣言中は毎月地域振興券1万円配布
- ### 若い力で元気ある町へ
- YouTube、Twitterの登録者・フォロワー合計1万人以上の発信力を活かします！

## 子育て中 32歳です。 3歳児の現役パパ。未来を真剣に考える若者の議会チャレンジを応援してください



## 加藤りょう

十七年前の十五歳の頃に家族で真鶴に引っ越してきました。それから進学しても就職しても、結婚しても子供が産まれても、真鶴から離れる気にはなれず、気がつけば人生の半分以上をこの町で過ごしています。家庭では共働きで、保育園に通う3歳の息子と暮らし、子育てはありますが、とても楽しく暮らしています。3年半前からプログラマーとしてIT企業に勤め、官民問わず、ホームページやシステムの構築・運用に従事してきました。子供が産まれてから、興味というよりも親として子供のために、より身近な地方政治に注目するようになりました。議会の賛成反対の理由、背景にある問題も調べてもなかなか出てきません。働いていると議事を傍聴しに休みを取るわけにもいきません。身近なはずの地方政治は、難解で、距離の遠い存在になってしまいました。そんな状況で、誰かが変えてくれないかとぼんやりと望んでいました。いつまでも誰かを待っているのではなく、まず私がやることをやりきろうと思ひ、今回の決断に至りました。熱意と行動力、現役世代の視点を持って、議会内外問わずに町民の想いを実現するために加藤りょうは全力で働きます。まだまだ三十二歳の若造です。一人でできることは限られています。是非皆さんのお力、お知恵をお貸し下さい。一緒に、真鶴のこれからを考えてみませんか。コロナ禍への遭遇を機会として、町内、庁舎内における様々な古き慣習・機能の改善を促進させるために、より一層、町民の声を反映する政治を目指します。

昭和六十三年生まれ  
関東学院大学中退  
大手眼鏡店にアルバイトが入社社員・副店長を歴任  
結婚後、IT企業へ転職、プログラマーとして勤務。本年九月返社  
真鶴町に妻・長男(三歳)と暮らし子育て世代

地域新党 未来のカタチ 公認  
32歳

